

自然景観形成事業

一周年の歩み

桜宮自然公園をつくる会

桜宮自然公園基本計画

1・ 趣旨

私たちは、多古町染井字三本入、天井田地域に水田を所有し米づくりを行ってききましたが、農道の未整備や山間谷津田という悪い条件のために生産性が低く、休耕や減反をせざるを得なくなり、その上農道の入口付近はゴミすて場と化し、現在農道は封鎖されており、水田は荒廃水田となってしまいました。

然しながら、この地域の自然景観はすばらしく、一般の観光地などには見られない「里山」としての風景を残している貴重な地域であります。

現在、八田バイパス沿いに産業廃棄物の中間処理場が企業によって計画され、その申請書が県に提出されています。その場所が私たちの地域に隣接しています。

この貴重な自然景観を保存し、後世に継承することは、私たち「今を生きる者」の重要な責務であると考えます。

この度水田の所有者全員で協議した結果、この地域を「自然公園」にして、広く住民の参加を募り水性植物や野草などを始め、かつて生存していたメダカ、昆虫、トンボ、ホタル等によってこの地域の自然環境を再生し、住民の憩いの地として行くことで意見の一致をみました。このことは「環境の世紀」と云われる21世紀に於て、非常に意義深いことと思えます。

本会の活動は、上記の趣旨を広く多くの人に理解して頂き、下記の「活動の基本方針」を、行政の指導と援助を頂きながらその実現に努める事により、自然豊かな個性的なまちづくりの一助となることを目的とします。

以上は、多古町が平成12年度に策定した「多古町総合計画」にも添うものであると確信します。

2・ 活動の基本方針

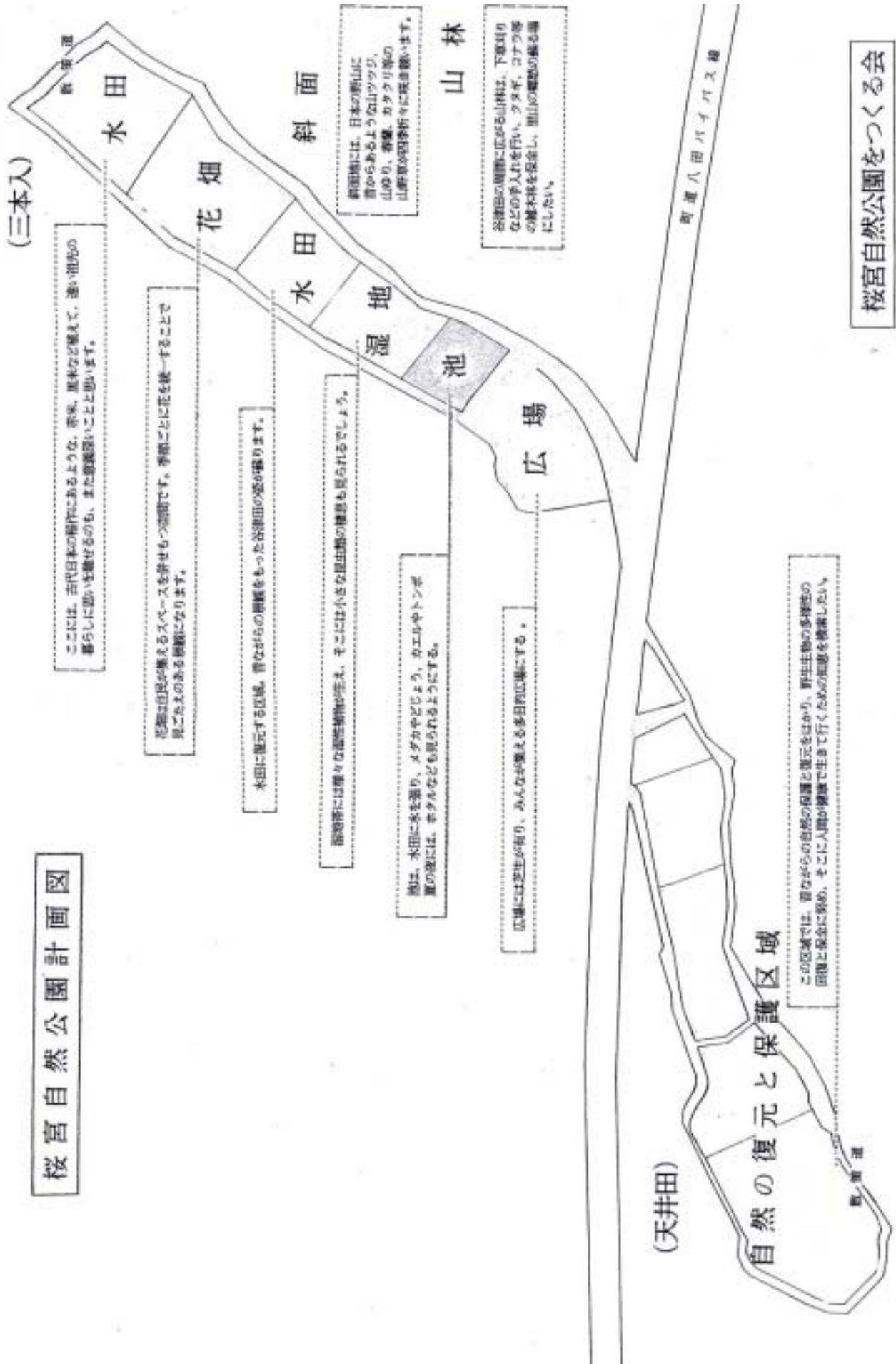
- 1) この活動を進めるために必要な道路の整備を、既存農道の改良などにより行う。
- 2) 水田の草刈などを行い、そこに水性植物や草花等を植えること等により、荒廃した自然環境の復元をはかる。
- 3) 同地域には、八田バイパスに歩道の施設が整備されて居り、桜並木等の景観も有ります。これ等と本計画を総合的に考え、さらに散策道を多方向に延長するなどにより、多くの地域住民が利用し、活用できるものにする。
- 4) 谷津田の両側の山林については、里山の景観の維持、保全のため、所有者と話し合い、下草刈り等の管理協定を結ぶ。
- 5) 一般利用者の便を図るために駐車場、トイレ、水道、ベンチ他等の施設を設け、利用目的の多角化を目指す。
- 6) この活動は「住民参加型」で進めることにより、より多くの人に「自然環境保護」の大切さの理解を深めて頂く。
- 7) 以上の活動を推進するにあたり、多方面に渡る行政の指導と力添えを御願いして行く。

平成13年11月18日

桜宮自然公園をつくる会会長 佐野 豊三

桜宮自然公園計画図

(三本入)



ここには、古代日本の稲作にあるような、赤米、黒米など種えて、遠い祖先の暮らしに思いを馳せるのも、また意義深いことと思います。

花畑は自然が奪えるスペースを併せもつ空間です。季節ごとに花を替へすることで見ごたえのある空間になります。

水田に復元する区域、昔ながらの農機をもった谷津田の姿が暮ります。

湿地帯には様々な湿性植物が生え、そこには小さな昆虫類の棲息も見られるでしょう。

池は、水田に水を張り、メダカやどじょう、カエルやトンボ屋の池には、ホタルなども見られるようにする。

広場には芝生があり、みんなが楽しめる多目的広場にする。

斜面には、日本の新山に昔からあるような山ツツジ、山ゆり、香蝶、カタクリ等の山野草が四季折々に咲き誇ります。

谷津田の周囲に広がる山林は、下草刈りなどの手入れを行い、クヌギ、コナラ等の樹木林を保全し、里山の景観の蘇る場にしたがい。

この区域では、昔ながらの自然の保護と復元をはかり、野生動物の多様性の回復と保全に努め、そこに人間の健康で生きて行くための知恵を模索したい。

桜宮自然公園をつくる会

桜宮自然公園をつくる会 作業実施状況および経過報告

月 日	事 業 内 容	備 考
平成13年		
11.18	第一回全員共同作業（草刈）及「桜宮自然公園をつくる会」の発会式 出席者 多古町長 土井正司 多古町議 土井清司 染井区長 萩原勝夫 井戸山区長 渡辺義則 地権者 佐野豊三 他関係者、ボランティア等40名	
12. 9	第二回全員共同作業 草刈、焼却 50名	
12.16	千葉県立中央博物館の見学と勉強会 出席者 多古町長土井正司 多古町議土井清司 多古町農業委員7名 つくる会役員3名	
12.20	多古町へ、公園づくりについて協力要請を行う 出席者 多古町長 土井正司 地域振興課長 菅沢進 産業経済課長 木下勝三郎 農業委員会事務局長 波木要一	
12.25	多古町役場より現地調査に来園 木下課長 大川係長 波木事務局長	
平成14年		
1. 7	多古消防署で公園づくりに関わる焼却作業について指導を仰ぐ	
1.13	第三回全員共同作業 草刈、焼却 30名 千葉県立中央博物館の中村俊彦先生来園現地調査及び現地指導 多古町役場より土井町長 菅沢課長 波木事務局長が現地視察	
1.15	地域振興課の要請により、桜宮自然公園の経費見積書を提出	
1.20	役員会	
1.27	つくる会からの、活動協力要請チラシを、新聞折り込みで配布	
2. 4	ボランティア協力者への挨拶廻り	
2.10	第四回全員共同作業 草刈 焼却 あきかん拾い ゴミ片付け 40名	
2.11	役員会	
2.16	あなたも自然公園づくりに参加しませんか説明会 コミュニティプラザ	
2.25	地域振興課へ桜宮自然公園をつくる会の基本計画書、基本計画図提出 公園近隣の山林所有者へ挨拶まわり	
3. 9	第五回全員共同作業 草刈 焼却 ゴミの片付け 20名	
3.10	町道排水路流末U字溝の土砂洗いと片付けの作業、重機を使用して	
3.11	前日に引き続きU字溝の土砂洗いと片付けの作業 重機使用	

月 日	事 業 内 容	備 考
3.17	散策道路づくり 重機使用	
3.19	さつき苗の植えつけ	
3.21	素掘り土木路づくり 重機使用	
3.22	新東京国際空港公団 地域共生部部長 富沢哲也氏来園	
3.24	水田畦畔づくり 重機使用	
3.30	農道整備 重機使用	
4. 2	佐原保健所へ、井戸水の水質検査依頼 トラクターに依る用地の耕耘作業	
4. 6	公園広場づくり 重機使用 トラクターに依る、花畑のビニールマルチ敷き作業	
4.10	佐原保健所より、井戸水の水質検査結果書受領 水質基準に適合	
4.13	花の苗ペコニアの植えつけ 四季の会会員24名により 湿地帯の畦畔づくり 重機使用	
4.14	第六回全員共同作業 篠竹等の焼却、ゴミの片付け 湿地帯の畦づくり 重機使用	
4.20	トイレの設置 北中石井氏より寄贈受け 公園の池づくり 重機使用	
4.21	〃 重機使用	
4.27	第七回全員共同作業 草刈 焼却 公園広場づくり 重機使用	
4.28	第八回全員共同作業 草刈 焼却 公園の池づくり 重機使用	
4.29	〃 〃 草刈 ゴミの片付け	
4.30	公園の池づくり 重機使用	
5. 1	散策道づくり 用水パイプライン修理 重機使用	
5. 8	町役場へU字溝、塩ビ管等資材の支給要請	
5.11	用水パイプライン修理 多古設備 重機使用	
5.12	第九回全員共同作業 草刈 焼却 散策道づくり 重機使用	
5.16	公園進入路(天井田)U字溝布設 重機使用	
5.17	湿地帯に水草等植えつけ	
5.19	桜宮自然公園仮オープン、竣工式 出席者 多古町長 土井正司 多古町議 永沼慶一 多古町議 小川藤男 多古町議 土井清司 多古町農業委員齊藤氏他 柴井区長 井戸山区長 つくる会会員(60名)他多数参加	

月 日	事 業 内 容	備 考
5.26	八街市より石井利夫氏、鯨井市議他2名公園に視察来園	
6. 1	散策道づくり 重機使用	
6. 2	畦畔づくり //	
	古代米苗の植えつけ	
	草刈 焼却 ゴミの片付け	
6. 6	渡り鳥サシバの棲息確認	
6. 7	役場地域振興課、新聞千葉日报社より調査に来園	
6. 8	鳥類研究者工藤氏、有識者石橋氏調査に来園	
6.14	大栄町より写真愛好グループ来園 早朝5時半サシバ撮影	
6.15	我孫子市鳥の博物館での羽根の鑑定の結果、鷹はサシバと判明	
6.22	散策道づくり 重機使用	
	草刈 焼却	
6.23	散策道づくり 重機使用	
	草刈 焼却	
6.24	役場地域振興課へ自然公園に係る予算書の提出	
6.30	桜宮自然公園づくり、これからの取り組みについて会議 染井青年館	
7. 5	千葉県 大槻副知事 多古町役場並木収入役の案内で来園	
7. 8	地域振興課へ自然景観形成事業補助金請求書提出(書類一式添付)	
7. 9	(株)コカコーラ社より公園に、ベンチ2基贈られる	
7.12	我孫子市鳥の博物館を見学、時田賢一主査長(学芸員)に指導受く	
7.13	全員共同作業 草刈 焼却 片付け	
7.14	// 草刈 焼却 片付け	
7.17	自然景観形成事業補助金概算払決定通知書送付受け	
7.18	上記の事について請求書を町役場へ提出	
7.20	我孫子市鳥の博物館 時田先生来園、指導うける	
7.21	公園内農道の碎石敷き均し作業 ダンプ使用	
7.25	公園内土地所有者の懇親会 経過説明と今後の取り組みについて	
7.28	草刈 池、湿地の手入れ メダカの放流	
8. 1	散策道路用地の立ち木伐採と草刈	
8. 3	// 重機使用	
8. 4	散策道づくり 重機使用	
	籐竹の焼却 ゴミの片付け	
8. 6	井戸揚水ポンプ、新品と交換取付け	
8.18	全員共同作業 草刈 焼却	
8.25	杉丸太利用の木工実演、チェーンソーによるベンチ作り、木造り小鳥他	
8.29	千葉県農林水産部 掘田副主査来園 山桜の植樹奨励 苗木支給受け	

月 日	事 業 内 容	備 考
9. 18	公園内の稲刈り作業	
9. 19	〃	
9. 27	篠竹の焼却作業	
9. 29	全員共同作業 斜面林の篠竹刈り 焼却	
10. 2	台風による倒木片付け作業 茨城県潮来市役所職員来園視察 環境課長 橋本静一郎氏他9名	
10. 4	斜面林の篠竹刈り 焼却	
10. 9	役員会 いきいきフェスタTAKO2002、参加について	
10. 12	台風被害の後片付け	
10. 13	〃	
10. 17	篠竹焼却作業	
10. 18	若津市農業振興連絡協議会より農政課管理調整係長 篠崎優夫氏他 19名視察来園	
10. 22	大阪堺市農業委員会より20名視察来園	
10. 28	八街市役所農政課より農政課長、市職員、市議等8名視察来園	
11. 3	古代米の刈取収穫作業	